令和　　年　　月　　日

　大阪府教育委員会教育長　様

記入例

ふりがな

志願者名

小学校等名

生年月日　平成　　年　　月　　日

保護者名

令和５年度大阪府立中学校入学者選抜適性検査等配慮事項申請書

　大阪府立中学校入学者選抜における配慮について、下記のとおり申請いたします。

記

１　志願先中学校 大阪府立　　　　　　　　　　　中学校

分野（咲くやこの花中学校の志願者のみ）

ものづくり（理工）　・　スポーツ　・　言語　・　芸術（美術・デザイン）

２　帰国に係る状況（父・母・本人等の状況について具体的に記入する。）

○帰国時期、出入国履歴及び外国での学修歴を明記する。出入国の機会が多い場合には、出入国履歴及び小学校入学以降の学修歴を明記する。

2010年４月20日に〇〇で生まれ、2016年９月より現地校である△△ Schoolに就学した。父の仕事のため、2019年７月に来日し、2019年９月１日に〇〇市立■■小学校に編入した。2010年４月20日から2019年９月１日までの間、短期滞在を除いて日本への渡航歴はない。

３　帰国後の日本語の習得の状況（帰国者センターに入所していた等、具体的に記入する。）

・2019年10月より、地域の日本語教室に週２回のペースで通い始める。

　・簡単な日本語のやりとりは可能であり、ひらがな、かたかなの読み書きはできる。

　・漢字の習得ついては、小学校３年生程度である。

４　希望する配慮の内容（事前相談したうえで記入する。）

・学力検査時間の延長についての配慮（1.3倍）

　・別室

　・作文のキーワードの〇〇語併記

　・学力検査問題へのルビうちの配慮

　・日■辞典、■日辞典の持ち込みについての配慮

５　学校所見欄（編入時期、編入した学年、編入後の日本語の習得状況、支援内容等を詳しく記入する。）

　本校に編入した当初は、本人が日本語で意思を伝えることが難しい場面があったが、地域の日本語教室や通級による日本語指導を通じて、少しずつコミュニケーションをとることができるようになった。

　現在は、友人と日本語で会話する場面も見られ、積極的にコミュニケーションをとれるよう周囲が声かけをするなど、心がけている。

|  |
| --- |
| 【小学校等具申】 令和　　年　　月　　日  受験上の配慮の申請について、上記のとおり相違ないことを具申します。  小学校等名　　　　　　　　　　　　　　　　　　校長名　　　　　　　　　　　　　　印 |
| 【市町村教育委員会副申】 令和　　年　　月　　日  受験上の配慮の申請について、上記のとおり相違ないことを副申します。  　　　　　　　　　　　　　教育委員会　　　　　教育長　　　　　　　　　　　　　　印 |